

一般社団法人 日本定置漁業協会

○現在実施している又は今後実施予定の取組

当会は、定置漁業に関する調査研究の推進、知識の普及及び技術の向上に努め、水産資源の保全、定置漁業の生産性の向上と漁獲物等の流通の合理化に貢献し、定置漁業の発展と経営の安定を図ることを目的とした団体です。

定置網は400年以上の歴史を持つ持続的漁業です。全国に多数あり、沿岸漁業の漁獲量の約5割を占めており、漁獲される魚種も季節によって、また地方によって多種多様で100種を超えと言われています。漁村の地域経済を支える中核的な漁業であるとともに、豊かな食文化を支える漁業でもあります。定置網は漁港から近く、固定されていることから、漁獲量当たりの燃油消費量は最も少なく、CO2の排出量も最も少ない、環境にも優しい漁業です。網に入った魚介類は漁獲直前まで網の中を元気に泳ぎ回っているため、漁獲物の鮮度は抜群ですし、水族館にもいろいろな魚が提供されています。

最近では、地球温暖化に伴う海洋環境の変化により、漁獲される魚種や漁獲量も大きく変動しています。スマート技術も活用しながら、こうした環境変化に対応し、資源の持続的利用に向けて、資源管理や漁獲物の付加価値向上に取り組んでいます。クロマグロについても、漁業者間の取り決めや操業の抑制等による漁獲管理に取り組むとともに、放流にも取り組んでいます。

「さかなの日」については、会員である定置漁業団体・定置漁業者への「さかなの日」の趣旨及びキャンペーン等の周知を行うとともに、他の賛同メンバーに対し、定置漁業における資源管理の取組や、資源の持続的利用に向けた取組の周知を行います。



取組 URL : <http://www.teichigyogyokyokai.or.jp/>